

JVC現地スタッフ来日イベント ～アフガニスタンに生きる医師の挑戦～

アフガニスタンから、国際協力NGO『日本国際ボランティアセンター(JVC)』スタッフのワハーブが来日します。同国では紛争が止まず、民間人死傷者数が過去最悪という「慢性的な人道危機」が続いています。そんな中、それでも平和で豊かなアフガニスタンを取り戻すため、危険も顧みず自國にとどまり、公共サービスの届かない農村部で、住民自身が推し進める地域保健・教育のプロジェクトをサポートしている一人の仲間の人生を広く知っていただく機会となればと以下の集まりを企画しました。※英日逐次通訳。

【日時】 2018年2月18日(日) 14:00～16:30

【場所】 大阪市立阿倍野市民学習センター

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階

【定員】 先着30名様

【申込】 担当 加藤 電話:03-3834-2388 メール: kato@ngo-jvc.net

※資料代500円をご協力ください

アブドゥル・ワハーブ（医師）

1974年生まれ。ナンガルハリ県出身、ロダート郡の村在住。6人の子ども、母親と妻の9人家族。4歳の時に旧ソ連がアフガニスタンに侵攻し、公務員だった父親が逮捕され今も行方不明のまま。難民として叔父家族とパキスタンに移り住むが、祖国アフガニスタンに戻りカブール医科大学を卒業。別NGOで地域保健トレーナー経験を経て2006年にJVCに参加。現在は村での地域保健活動を統括。



15/02/2013 20:00